

2023 年度:こども園自己評価の報告書 高川こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「人と豊かに関わるための力を養う環境（人的・物的）・遊びとは」をテーマに、子どもが主体的に活動し、子ども自身が大切にされているという感情が育まれ、一人ひとりの力を蓄えていくためには、どのような環境・遊びが必要なのかをカリキュラムを使って実践していく ・子どもの興味がある遊びになっているか、「10の姿」を意識し、わかりやすく物事を伝え、見通しを持つ力につながるようにしていく。
健康支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの健康状態を把握し、細やかに家庭と連携を取った。 ・定期的に身体計測を行い、個々の成長を継続的に確認し、必要に応じて健康に過ごすための支援を行った。 ・手洗いや歯磨きなど、なぜするのかをわかりやすく教材を使って話をし、理由を知り興味をもってしようとする力につなげていった。
安全指導・危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月施設の安全点検を実施し、危険な箇所については修理を行い、規模の大きなものについては修繕依頼し改善していった。 ・避難訓練も毎月行い、約束事や自分自身を守ることを知らせていった。消防署立会いの下、高川センターとの合同避難訓練や高川小学校へ2次避難訓練をした。 ・交通安全指導は、園外保育や散歩時に交通ルールを知らせるとともに、園庭に模擬道路を作った交通安全指導も今年度は経験できた。
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の献立で使用する野菜の皮むきや、畑で収穫した野菜を使うなど食材や調理をすることに興味を持ち食べる意欲に繋げた。年長児は、米のとぎ方、出汁の取り方を知り、味噌汁を作ることを経験した。 ・「はてなボックス」を使い調理する前の食材に五感を使って触れ、興味をさらに持てるように工夫した。大豆などを使って「○○（の食材）から、○○に変身」といろいろな食材を紹介し興味を広げた。 ・今年度は「○○組の給食人気メニュー」を毎月配信アプリでも配信し、レシピを紹介し、家庭でも調理できるようにした。
子育て支援（在園児および地域）	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所に近い部屋（視診部屋と共有）を地域の開放部屋にし、外にも出やすく在園児とも交流しやすいようにした。利用人数が増え、育休中在園児の保護者との交流の場になった。育児の相談のために来園される親子の姿もあった。 ・個人懇談、クラス懇談、クラス参加など保護者が来園する機会を増やし、日頃の活動を見たり、一緒に活動してもらったりして、個人懇談へとつなげていった。 ・地域とクラスで交流し、同じ年齢で遊ぶ機会をもった。
インクルーシブ教育保育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目線に立ち「子どもの困り感」を支援できるように、支援学校や児童発達支援センターの巡回指導でアドバイスを受けながら、職員間で課題や関わり方を共有し実践に結び付けていった。 ・医療的ケアが必要な園児と共に、ケアが、その子の命にとって大切なことをまわりの子どもに伝えながら、保育を実践した。

<p>職員の資質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめなおすこと、人との付き合い方に必要な考えや気持ちの持ち方を知る機会を学んだ。「困っている子ども」の具体的な関わり方を学び実践する手立てを学べた。 ・絵本の読み聞かせの実践から、絵本が子どもに与える影響力を知り、読み聞かせの時の大事な視点を知る機会になった。 ・公開保育の際に、指導計画と環境ガイドラインで見てもらいたい視点をあげ、職員同士でチェックしていった。日頃の教育保育で、環境を見直していくきっかけになった。 ・不適切保育について職員間で考え、自分をふり返り点検していった。
<p>幼保こ小中の連携・接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊南西こども園の年長児と交流し、同じ小学校に行く友達を知る。 ・就学先となる各小学校との連携を図り、子ども達の様子を知らせたり、見に来てもらったり、就学がスムーズに行くように連携する。 ・小学校訪問し、部屋で教材を触らせてもらい、小学生と交流して、小学校の事を知る機会ができ、入学への期待を持つことができた。
<p>評議員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の中で、こども園の子どもの姿を見てもらい、意見をいただいた。地域の現状や課題など意見交流できた。 ・子育てサロンの再開に向けて、前向きな意見交換ができ、実施に向けて協力していくことを確認した。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会（みつば会）の廃止に向けて、それに伴う片付けや、教育保育の中で実施できることを保護者と相談しながら進めた。来年度に向けて、どうしていくかは今後相談を続けていく予定である。 ・保護者のアンケートの結果や行事ごとの感想、取り組みの反省を行ないながら次年度の行事、取り組みに繋げていく。 ・不適切な言葉かけ、関わり方などは定期的に点検していく。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
<ul style="list-style-type: none"> ・体幹づくり、手先を使う遊びについて（0歳から年長児、小学校でどのようにつながっていくのか、10の姿） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別、育ちに応じた活動をもう一度学び、日々の教育保育の中に取り入れ実践し、公開保育では職員間で共有し、課題を明らかにし、また計画し実践していく。 ・アドバイザー研修、実際に体感する。書籍や職員間の意見交流で、学びを深めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上 ・子どもの姿をわかりやすく伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ガイドラインを活用し実践をして職員間で意見交換し、環境を見直していく。 ・アドバイザー研修、人権研修や様々な研修を通して自己研鑽に努めるとともに、日頃から子どもの姿を話し、わかりやすい伝え方を考えていく。

令和6年（2024年）3月31日

豊中市立 高川 こども園

園長名 津田 美穂